

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修					
			年次	1 年次						
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位					
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ライブハウスコース/ローディーコース レコーディングコース/P A &レコーディングコース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒									
担当講師 実務経歴										
授業概要										
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。										
到達目標										
社会人としての基礎的スキルの習得。										

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 21～24回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 25～28回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 29～32回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 33～36回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る（心理テスト） ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 37～40回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう！
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC講座 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
Excel、Illustrator、Photoshop、Dreamweaver等のアプリケーションソフトの基本的な使用方法を学ぶ。					
到達目標					
イベントロゴデザイン、フライヤー&チケットデザイン作業のノウハウ修得。 Webによる広報作業の技術力の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	Excel ・時間割の作成・セル内縮小・改行 ・関数 ・アートワード・図形描画・重なり合い ・タイムテーブル作成
【前期】 11～20回目	色彩 ・RGBとCMYK・キーとの組み合わせ他 ・フォントの用法 ・ペンツール練習 ・ダイレクト選択ツール ・重なり合い
【前期】 21～30回目	Illustrator ・トレース練習 ・図形描画 ・レイヤー ・文字ツール ・テキストエリア ・整列 ・パスファイン ・スポイト ・はさみ等 ・Illustrator&PDFデーター作成 入稿データー作成手順
【前期】 31～40回目	Photoshop ・調整レイヤーによる補正 ・選択範囲の作り方・クイックマスク illustrator&photoshop 入稿データー作成
【後期】 41～48回目	web 基礎知識（Dreamweaver） ・インターネットの仕組み、ネットリテラシー等 ・拡張子による形式の違い/カラーコード 16進数
【後期】 49～56回目	web 制作（Dreamweaver） ・タグの使用ルール・基本的なタグ サンプルページの作成 ・要素・属性・値/align・imgなど ・絶対パスと相対パス
【後期】 57～64回目	web 制作（Dreamweaver） ・Illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成 ・サンプルページ完成
【後期】 65～72回目	web 復習 CSSの使い方・違い・使い分け
【後期】 73～84回目	gifアニメの作成 サンプルページをDreamweaverを使用して作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	就職で必要とさせるパソコンスキル より高度な技術取得を目指していきましょう
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス音響概論		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。				
授業概要					
実践に関する技術の知識や、作業をする上での知識などを学ぶ。					
到達目標					
音響に関する基礎知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	音響機材について ・ マイクロフォン（ダイナミック、コンデンサー）の種類について ・ ダイレクトボックスについて ・ 各種コネクターやケーブルについて
【前期】 6～10回目	音響機材について ・ ミキシングコンソールについて ・ 音の三大要素について ・ スピーカーの構造、規格、種類。マルチウエイシステム、ラインアレイについて
【前期】 11～15回目	音響機材について ・ 各種エフェクターについて ・ ブロックダイアグラムについて ・ インピーダンス、トランスについて ・ 電気について
【前期】 16～20回目	音響機材について ・ 音響心理、デシベル、メーター、VCA、Ωの法則 ・ デジタルオーディオ
【後期】 21～24回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 回線チェックの仕方 ・ マイクの狙いかたについて
【後期】 25～28回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 音作りについて ・ モニタースピーカーの設置の仕方
【後期】 29～32回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 回線表の作成の仕方 ・ テスターの使い方
【後期】 33～36回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 卓のイコライザーの操作の仕方 ・ 各種機材の操作の仕方
【後期】 37～40回目	LIVE本番・実践に関すること ・ PAの仕事の細かい作業の流れについて
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給i-Pad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス照明概論		授業形態 / 必・選	講義	必修					
			年次	1 年次						
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位					
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍。 また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。									
授業概要										
実習「ライブハウス照明実習Ⅰ」を行うにあたって必要な基礎知識を学ぶ。										
到達目標										
ライブハウスで照明業務を行う為の基礎知識の修得。										

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	照明基礎知識に関する項目 ・照明機材の名称や特徴 ・舞台空間の構造と名称 ・業界特有の用語
【前期】 6～10回目	・安全に作業する為の注意点 ・カラーフィルターの種類と特徴
【前期】 11～15回目	・照明の設置場所 ・ホール資料・図面の読み取り方
【前期】 16～20回目	・色彩表現のイメージワーク ・シーンを構成する明かり
【後期】 21～24回目	・照明チームの一日の動き ・譜割り練習
【後期】 25～28回目	・課題曲プランニング・プランニングの考え方 ・光のコントロールとオペレート
【後期】 29～32回目	・DMXの基礎知識 ・デジタル機材に関する導入
【後期】 33～36回目	・光源の種類 ・電気の基礎
【後期】 37～40回目	企画イベント実施のための項目 ・企画イベントに向けての仕込み構想 ・イベント当日の作業に関する打ち合わせ
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給iPad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス制作講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義		必修		
			年次	1 年次				
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位			
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目						該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験：23年 10年以上にわたりライブハウスなどでイベントの企画や制作に従事し、自身もライブハウスで出演した経験を 活かしアーティストとしての目線も持ったプランナー。							
授業概要								
音楽業界における各業種の仕事内容、音楽史でブルースから現代音楽の遍歴を学ぶ。								
到達目標								
ライブハウスでの仕事の流れの理解、メールマナー等一般常識の修得。								

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	音楽業界基礎 ・レコード会社、プロダクション、出版会社、イベンターなどの仕事内容
【前期】 6～10回目	音楽業界基礎 ・各仕事の仕組みや他との関係性
【前期】 11～15回目	音楽業界基礎 ・各仕事とライブハウスや音響、照明との関わり方
【前期】 16～20回目	音楽史 ・ブルース、ロックンロール、R&B、ソウル、ジャズなど年代や成り立ち、主要アーティストの映像および ジャンルにおける背景など
【後期】 21～24回目	イベント制作 ≪イベント準備≫ ・ライブハウス規模でのイベントの組み方 ・バンドの選び方、誘い方
【後期】 25～28回目	イベント制作 ≪イベント準備≫ ・メールマナーの学習、バンドのブッキングの実践 ・イベントのイメージ作りや概要作り
【後期】 29～32回目	イベント制作 ≪イベント準備≫ ・セット図の作り方 ・タイムテーブルの作り方 ・宣伝方法 ・フライヤー作り
【後期】 33～36回目	イベント制作 ≪イベント当日≫ ・円滑な進行、PA・照明との伝達方法 ・舞台上立ち位置決め、楽器のセットアップの仕方
【後期】 37～40回目	イベント制作 ≪イベント当日≫ ・バンドの転換時における楽器の動かし方、スペースの使用方法 ・バンドに対して、ケータリング含む楽屋の作り方・アテンド方法
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	ライブハウスで一つの「イベント」を作るには、様々な準備と多くの能力が必要とさせます。 基礎から学び応用に至るまでクラスがチーム一丸となって学んでいきます。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校 E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウスPA実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。				
授業概要					
ステージ・コンソールの仕込み、回線チェックの仕方を学ぶ。					
到達目標					
マイキング、音作りの理解、バンドの対バン形式での転換のノウハウ習得。 イベントでPAを担当できる技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ホール・PA機材の使い方 ・ケーブル巻き（八の字巻き）の方法 ・マイクスタンドの使い方、バラシ方法 ・マイクの種類、扱う上での注意点
【前期】 11～20回目	ホール・PA機材の使い方 ・機材の電源の入れ方、入れる順番 ・卓の使い方 ・スピーカーの鳴らし方
【前期】 21～30回目	ホール・PA機材の使い方 ・卓の仕込み方 ・バミリについて ・機材チェックリストの使い方
【前期】 31～40回目	ホール・PA機材の使い方 ・回線表配布～説明 ・マルチボックス、マルチケーブルについて ・マイクの仕込み方
【後期】 41～48回目	実際のライブに向けて ・プレイバックのチェック方法 ・エフェクターのつなぎ方とチェック方法
【後期】 49～56回目	実際のライブに向けて ・回線表の通りに仕込み、回線チェックの仕方 ・モニター回線にGEQをインサート / チェックの方法
【後期】 57～64回目	実際のライブに向けて ・モニターチューニングアシストの仕方 ・サウンドチェックの流れ、マイクの立て方
【後期】 65～72回目	実際のライブに向けて ・音作りについて
【後期】 73～82回目	実際のライブに向けて ・チューニング実践練習
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好（黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す） 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス照明実習 I		授業形態 / 必・選	実習		必修		
			年次	1 年次				
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位			
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目						該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍。 また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。							
授業概要								
ホール常設機材を使用した照明オペレートの実践。 企画イベント実施に向けた準備。								
到達目標								
ライブハウスで照明業務を行う為の基本的な機材の扱い方の習得。								

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	照明基礎知識に関する項目 ・機材の名称と特徴 ・電球の特徴、交換の仕方 ・スモークマシンの扱い方
【前期】 11～20回目	照明基礎知識に関する項目 ・MIPの扱い方 ・調光卓の扱い方
【前期】 21～30回目	照明基礎知識に関する項目 ・ホール資料・図面の読み取り方 ・カラーチェンジャーの扱い方
【前期】 31～40回目	照明オペレーターの実践に向けた項目 ・maXimを使用した調光卓操作の取得 ・MIPを使用したオペレーター練習
【後期】 41～48回目	照明オペレーターの実践に向けた項目 ・カラーフィルターの種類と特徴 ・課題曲プランニング・オペレーター発表
【後期】 49～56回目	その他作業に関する項目 ・安全に作業するための注意点 ・高所作業を含む仕込み練習
【後期】 57～64回目	その他作業に関する項目 ・シュートの見方 ・信号線の配線
【後期】 65～72回目	その他作業に関する項目 ・イメージワーク
【後期】 73～84回目	企画イベント実施のための項目 ・イベント当日に使用する明かりのプランニング・プログラミング作業 ・イベント当日に行う仕込みの実験・リハーサル
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好（黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す） 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修
		年次	1 年次	
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	9回 (36単位時間)	年間単位数 2 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セッションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～9回目	E S P 学園主催イベント①～⑤
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布